

# 敦煌石窟美術の研究

濱田瑞美（横浜美術大学教授） 著

定価一五、四〇〇円（本体一四、〇〇〇円＋税一〇％）

A5判上製函入 本文四五六頁 口絵八頁

ISBN 978-4-8055-0979-1 C3071

二〇二四年二月刊



敦煌莫高窟

敦煌石窟とは甘肅省敦煌地域に所在する石窟の総称で、その代表である莫高窟には塑像と壁画を有する石窟として合計四九二箇窟が編号されている。往時、窟内にはどのような仏教世界が表現され、そこで人びとは何を想い、何を体験したのか。本書は、仏教石窟が何のために造られ、人びとにとってどのように機能したのかという根幹的な問いに対し、敦煌石窟の豊富な仏教美術を以て解を見出していく。

【著者略歴】 濱田瑞美（はまだ・たまみ）

一九七二年、広島県に生まれる。早稲田大学大学院文学研究科芸術学（美術史）専攻博士後期課程満期退学、二〇〇七年に博士（文学）（早稲田大学）を取得。現在、横浜美術大学教授。著書『中国石窟美術の研究』（中央公論美術出版、二〇二二年）、編著『アジア仏教美術論集 東アジア（後漢・三国・南北朝）』（中央公論美術出版、二〇一七年）等。

仏教石窟が何のために造られ、人びとにとってどのように機能したのか。

敦煌石窟美術の意義を読み解く。

目次

緒言

- 一 本研究のねらい
- 二 礼拝空間における図像構成と人びとの実践
- 三 本書の構成
- 四 敦煌石窟の礼拝本尊と図像構成

- 序論 敦煌石窟の礼拝本尊と図像構成
- 一 敦煌莫高窟の窟内本尊の概要
- 二 伏斗形方窟正面窟内本尊の坐勢と尊格
- 三 唐前期窟の正面窟内図像構成
- 四 唐後期窟の正面窟内図像構成
- 五 五代伏斗形方窟の礼拝空間
- 「金光明最勝王經」に基づく世界観

第I部 敦煌莫高窟維摩經變の図像構成

第一章 隋代の維摩經變

- はじめに
- 一 隋代維摩經變の窟内配置と図像表現
- 二 周囲の尊像・壁画との組み合わせ
- 三 窟内における維摩經變の意味
- 四 釈迦仏国土の表現と仏国土の相承

第二章 初唐期第二〇窟東壁の維摩經變

- はじめに
- 一 第二〇窟の維摩經變の図像
- 二 東壁への配置の意図
- 三 維摩經變図中の中国皇帝像の意義
- 四 窟内における維摩經變の表現
- 五 初唐期北壁の維摩經變
- 「玄奘訳『説無垢稱經』」に基づく仏国土表現
- 一 正面仏窟内に描かれた維摩經變の図像
- 二 題記の所依経典「玄奘訳『説無垢稱經』」
- 三 玄奘訳本に基づく維摩經變の表現
- 四 窟内の維摩經變の主題「仏国土浄土と菩薩行」
- 五 初唐期北壁の維摩經變

第三章 初唐期北壁の維摩經變

- はじめに
- 一 第三三五窟と第三三二窟の維摩經變の図像
- 二 初唐期北壁の維摩經變の図像検討
- 三 仏国品、菩薩行品、法供養品
- 四 北壁配置の意味「仏国土の中国への継承」
- 五 中晩唐期の維摩經變の図像と題記
- 「莫高窟第九窟、第八五窟、第一五〇窟」
- 「晩唐期の維摩經變の題記」
- 「おわりにかえて」経変図における題記の効果

第四章 中晩唐期の維摩經變の図像と題記

- はじめに
- 一 中唐期の維摩經變の題記「莫高窟第三三七窟」
- 二 晩唐期の維摩經變の題記
- 三 「莫高窟第九窟、第八五窟、第一五〇窟」
- 四 「おわりにかえて」経変図における題記の効果

第II部 敦煌莫高窟第三三三窟の図像構成と制作意図

- 第一章 第三三三窟の本尊と仏龕表現
- 一 本尊塑像の補修と尊格について
- 二 窟内の山岳塑壁
- 三 本尊弥勒仏
- 四 おわりに

第二章 第三三三窟南北壁の仏法東伝図

- はじめに
- 一 南北壁の図像
- 二 南北両壁の相関関係
- 三 第三三三窟東壁の持戒誓願図
- 四 東壁の図像
- 五 題記の典拠
- 六 持戒誓願図の意義
- 七 第三三三窟の図像からみた窟内機能と制作意図
- 「受戒と懺悔」南北両壁の菩薩並立像
- 「仏法東伝図と『畫圖讃文』」
- 「受戒儀礼における三宝と弥勒仏」
- 「中国における三宝実在の意義と第三三三窟の制作意図」
- 「第三三三窟の制作年代試論」
- 「壁画の様式」菩薩像と俗人像
- 「題記の書様式」
- 「仏法東伝図の選択」漢武帝の金人拜謁と隋文帝の受戒
- 「おわりにかえて」盛唐期における第三三三窟の制作

第三章 敦煌壁画と礼拝者の実践

- はじめに
- 一 隋代から初唐期の薬師經變
- 二 隋代の薬師經變の図像
- 三 薬師仏の礼拝と生天思想
- 四 初唐期第二〇窟の薬師經變の図像
- 五 七体の薬師像
- 六 敦煌莫高窟盛唐期第一四八窟の薬師經變の図像と題記
- 「莫高窟第一四八窟薬師經變の図像概要」
- 「九横死と設齋」
- 「陀羅尼幢」
- 「敦煌薬師經變における薬師如来の図像」
- 「鉢と錫杖の持物を中心に」
- 「敦煌薬師經變における中尊薬師如来の持物」
- 「鉢と錫杖の典拠」
- 「敦煌薬師經變の図像」頂上化仏手を中心に
- 「頭上に頂上化仏手をあらわす敦煌の千手観音図」
- 「敦煌千手観音の頂上化仏手の特徴」
- 「頂上化仏手の意義」
- 「おわりに」

第四章 敦煌千手観音像の図像と制作意図

- はじめに
- 一 敦煌千手観音像の図像
- 二 頂上化仏手の意義
- 三 頂上化仏手の意義
- 四 おわりに

第五章 中国における三宝実在の意義と第三三三窟の制作意図

- はじめに
- 一 第三三三窟の制作年代試論
- 二 壁画の様式「菩薩像と俗人像」
- 三 題記の書様式
- 四 仏法東伝図の選択「漢武帝の金人拜謁と隋文帝の受戒」
- 五 「おわりにかえて」盛唐期における第三三三窟の制作

第六部 敦煌壁画と礼拝者の実践

- はじめに
- 一 隋代から初唐期の薬師經變
- 二 隋代の薬師經變の図像
- 三 薬師仏の礼拝と生天思想
- 四 初唐期第二〇窟の薬師經變の図像
- 五 七体の薬師像
- 六 敦煌莫高窟盛唐期第一四八窟の薬師經變の図像と題記
- 「莫高窟第一四八窟薬師經變の図像概要」
- 「九横死と設齋」
- 「陀羅尼幢」
- 「敦煌薬師經變における薬師如来の図像」
- 「鉢と錫杖の持物を中心に」
- 「敦煌薬師經變における中尊薬師如来の持物」
- 「鉢と錫杖の典拠」
- 「敦煌薬師經變の図像」頂上化仏手を中心に
- 「頭上に頂上化仏手をあらわす敦煌の千手観音図」
- 「敦煌千手観音の頂上化仏手の特徴」
- 「頂上化仏手の意義」
- 「おわりに」

第七部 敦煌千手観音像の図像と制作意図

- はじめに
- 一 敦煌千手観音像の図像
- 二 頂上化仏手の意義
- 三 頂上化仏手の意義
- 四 おわりに

あとがき／初出一覧／図版出典／一覧／中文要旨／英文要旨／窟名索引

関連書籍

中国石窟美術の研究

【第25回(2013年)國華奨励賞受賞】

濱田瑞美 著

本書は、図像研究を通して石窟空間全体の構想を読み解くという視点から、石窟美術の歴史を捉える。長期にわたる現地調査によって得た図像資料と綿密な読解を加えた多くの関連経典・仏教史資料を駆使しており、その史料的価値も多大である。中国の南北朝期から唐宋期まで、また地域も幅広く扱う本書は、中国大陸における石窟美術の歴史を実証的に論述した、気鋭の研究。

定価 14,300 円 (本体 13,000 円 + 税 10%)

A5 判上製函入 本文 400 頁 口絵 4 頁 挿図 194 点  
ISBN 978-4-8055-0688-2 C3071 2012 年 10 月刊

敦煌美術東西交界史論

田林啓 著

敦煌は古来より東西の様々な文化が交差する地であり、世界最大の仏教石窟寺院、莫高窟の諸石窟は時代とともに複雑な展開をたどった。中国の南朝時代から唐代を経て五代へ至る各時代の諸石窟について、最新の研究成果をもとに詳細な検討を加え、敦煌様式の特徴を浮かび上がらせる。

定価 16,500 円 (本体 15,000 円 + 税 10%)

A5 判上製函入 本文 462 頁 口絵 8 頁  
ISBN 978-4-8055-0960-9 C3071 2022 年 3 月刊

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

website <https://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱いは